

授 業 科 目 名	必修・ 選択別	単位数	対象 学年	学 期	曜・限	主に使用 する言語	その他に使用 する言語	担当形態			
行動・精神・心理コース	必修	3	3	2	月～金	日本語	英語	オムニバス			
【担当教員】 平川 博文 (精神科)											
【科目名の英文】 Behavior, Psychiatry and Psychology											
【授業の概要・到達目標】											
精神と行動の障害に対して、児童・思春期から老年期のライフステージに応じた正常発達と病態をわきまえた上で、症状、診断、治療を理解し、さらには患者の実存を尊重した上で、患者と医師の良好な信頼関係に基づいた全人的医療を学ぶ。											
具体的な到達目標						医学科ディプロマポリシーとの対応					
						1	2	3	4	5	6
1. 患者-医師の良好な信頼関係に基づく精神科面接の基本を説明できる。							○				
2. 精神科診断分類法を説明できる。						○					
3. 精神科医療の法と倫理に関する必須項目(精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、心神喪失者等医療観察法、インフォームド・コンセント)を説明できる。									○		
4. コンサルテーション・リエゾン精神医学を説明できる。										○	
5. 心理学的検査法(質問紙法、Rorschach テスト、簡易精神症状評価尺度 Brief Psychiatric Rating Scale<BPRS>、Hamilton うつ病評価尺度、Beck のうつ病自己評価尺度、状態-特性不安検査(State-Trait Anxiety Inventory <STAI>)、Mini-Mental State Examination <MMSE>、改訂長谷川式簡易知能評価スケール等)の種類と概要を説明できる。						○					
6. 不安・躁うつをきたす精神疾患を列挙し、その鑑別診断を説明できる。								○			
7. 意識障害、不眠、幻覚・妄想をきたす精神疾患を列挙し、その鑑別診断を説明できる。								○			
8. ストレスなどの心理社会的要因が症候(息苦しさ、心窩部痛、腹痛、頭痛、疲労、痒み、慢性疼痛等)に密接に関与している代表的な疾患を列挙し、その鑑別診断を説明できる。								○			
9. 症状精神病と器質性精神障害の概念と診断を概説できる。						○					
10. 認知症の診断と治療を説明できる。						○					
11. 薬物使用に関連する精神疾患、アルコール、ギャンブル等依存症の病態と症候を説明できる。						○					
12. 統合失調症の症候と診断、救急治療を説明できる。						○					
13. うつ病の症候と診断を説明できる。						○					
14. 双極症(双極性障害、躁うつ病)の症候と診断を説明できる。						○					
15. 不安症群と心的外傷及びストレス因関連症群の症候と診断を説明できる。						○					
16. 強迫症及び関連症群の症候と診断を説明できる。						○					
17. 解離症群、身体症状症及び関連症群、食行動症及び摂食症群の症候と診断を説明できる。						○					
18. パーソナリティ症群を概説できる。						○					
19. 知的発達症(知的能力障害)と自閉スペクトラム症(ASD)を概説できる。						○					
20. 注意欠如多動症と素行症群を概説できる。						○					
21. こころの発達の原理を概説できる。									○		
22. ライフサイクルの各段階におけるこころの発達と発達課題を概説できる。									○		
23. こころの発達にかかわる遺伝的要因と環境的要因を概説できる。									○		
24. 健康行動や行動変容を行う動機付けを概説できる。											○
25. 認知行動療法を説明できる。											○
26. 心理教育を説明できる。							○				
27. 認知症、うつ、せん妄の違いを説明し、鑑別と初期対応を実施できる。								○			
各 DP への関連度 (計 10)						5	1	1	1	1	1

【授業の内容】

回数	授業項目	授業内容	担当講座・教員	方法
1	精神医学序論Ⅰ	精神医学の歴史	精神神経医学・平川	講義
2	精神医学序論Ⅱ	精神療法に役立つ哲学の知識	精神神経医学・平川	講義
3	精神症状学	精神科領域のあらゆる症状についての知識	精神神経医学・平川	講義
4	映画で学ぶ精神医学	映画に登場する精神疾患や精神症状	精神神経医学・平川	講義
5	うつ病Ⅰ	うつ病の症状学・診断学	精神神経医学・平川	講義
6	うつ病Ⅱ	うつ病の治療学	精神神経医学・平川	講義
7	双極症Ⅰ	双極症(双極性障害)の症状学・診断学	精神神経医学・平川	講義
8	双極症Ⅱ	双極症(双極性障害)の治療学	精神神経医学・平川	講義
9	光と精神医学	光が及ぼす精神への影響について	精神神経医学・平川	講義
10	死生学	生と死の見方とその歴史について	精神神経医学・平川	講義
11	支持的精神療法・ 認知行動療法	代表的な精神療法、認知行動療法の 説明と具体例の提示	精神神経医学・河野	講義
12	知的発達症(知的能力障害)	知的発達症(知的能力障害)の診断と対応	精神神経医学・河野	講義
13	症状性・器質性精神病	症状性・器質性の精神病について	精神神経医学・河野	講義
14	気質と人格	気質および人格の定義	精神神経医学・河野	講義
15	パーソナリティー症	パーソナリティー症の診断・対応	精神神経医学・河野	講義
16	精神保健福祉法・医療観察法	精神科に特有な法律の説明と具体例の提示	精神神経医学・河野	講義
17	ECT・クロザピン	電気痙攣療法、クロザピン治療について	精神神経医学・室長	講義
18	認知症Ⅰ	認知症の症状学・診断学	精神神経医学・室長	講義
19	認知症Ⅱ	認知症の治療学	精神神経医学・室長	講義
20	自傷・自殺	自傷・自殺についての知識・対応	精神神経医学・室長	講義
21	依存症	ギャンブル・アルコール依存の症状・治療	精神神経医学・室長	講義
22	心理検査	神経心理検査の内容	精神神経医学・室長	講義
23	睡眠障害	睡眠障害の症状・診断・治療	精神神経医学・井上	講義
24	意識障害・せん妄	代表的な意識障害の鑑別・診断・治療	精神神経医学・井上	講義
25	緩和ケア	進行がん患者に対する精神的ケア	精神神経医学・井上	講義
26	性別違和	性別違和の診断・対応	精神神経医学・井上	講義
27	ライフサイクルに おけるこころの発達	エリクソンの発達段階やマラーの分離 個体化過程など心理的成長の理論の紹介	精神神経医学・泉	講義
28	児童思春期精神医学	児童思春期精神医学入門	精神神経医学・泉	講義
29	ASDとADHD	自閉スペクトラム症(ASD)と注意欠如多動 症(ADHD)の診断・治療	精神神経医学・泉	講義
30	摂食障害	摂食障害の診断・治療	精神神経医学・泉	講義
31	不安症	不安症の症状・診断・治療	精神神経医学・駄阿	講義
32	適応反応症	ストレスが原因で生じる精神症状	精神神経医学・駄阿	講義
33	強迫症	強迫症の診断・治療	精神神経医学・駄阿	講義
34	身体症状症・解離症	身体症状症・解離症の診断・治療	精神神経医学・駄阿	講義
35	統合失調症Ⅰ	統合失調症の症状学・診断学	精神神経医学・小川	講義
36	統合失調症Ⅱ	統合失調症の治療学	精神神経医学・小川	講義
37	精神科救急	精神科救急の目標と実際	精神神経医学・長野	講義
38	コンサルテーション ・リエゾン精神医学	身体科と精神科との双方向的な連携	精神神経医学・吉良	講義
39	精神科ソーシャルワーク	精神科医療のソーシャルワークについて	精神神経医学・岩田	講義
40	リワーク・精神科 リハビリテーション	精神科作業療法およびデイケアについて	精神神経医学・山下	講義

【アクティブラーニングの内容】 学生に正解のない質問を行い、なぜその回答に至ったのかを掘り下げて問うことにする。		【その他の工夫】 患者の心理や社会的側面を把握した全人的医療を学んでもらう。患者の人生における条理のみならず不条理への対応ができる医師に育ててもらうことを目標とする。	
【時間外学修の内容と時間の目安】			
準備学修	配付資料の情報を必要に応じて予習する（20時間）。		
事後学修	講義内容に関連した書物を読み、知識・教養の幅を広げる（30時間）。配布資料を用いて復習する（40時間）。		
想定時間合計	90時間		
【教科書】 教科書は指定しない。			
【参考書】 標準精神医学 第9版（2024、医学書院）ISBN 978-4-260-05334-1 現代臨床精神医学 第12版（大熊 輝雄、2013、金原出版）ISBN 978-4-307-15067-5 双極性障害の診かたと治し方：科学的根拠に基づく入門書（寺尾 岳、2019、星和書店）ISBN 978-4-7911-1037-7 精神科とは無縁と思っていたあなたが困ったときに精神科を味方につけるための本 （寺尾 岳ほか、2020、星和書店）ISBN 978-4-7911-1042-1 こころの健康がみえる 第1版（2024、MEDIC MEDIA）ISBN 978-4-89632-945-2			
【成績評価方法及び評価の割合】 講義中に学生を個別に指名して出欠を確認するとともに、質問を行う。このときに欠席している学生は本試の筆記試験(100点満点)の成績から所定の点数を差し引く。			
【注意事項】 本試は選択問題で構成されるが、再試は記述問題となることがある。いずれも60点未満を落第とする。			
【備考】			
リンク			
	URL		
教員の実務経験の有無	有		
教員の実務経験	大分大学医学部附属病院にて臨床医療に従事する医師		
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	有		
教員以外の指導に関わる実務経験者	大分大学医学部附属病院にて臨床医療に従事する作業療法士、精神保健福祉士		
実務経験をいかした教育内容	医師：精神科領域についての講義を行う。 作業療法士：リワーク、精神科リハビリテーションの具体的な内容を講義する。 精神保健福祉士：精神科ソーシャルワークの具体的な内容を講義する。		
授業形態	対面授業		